



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月2日

上場会社名 株式会社ニッカトー 上場取引所 東  
 コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西村 隆  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)紀ノ岡隆一郎 TEL (072)238-3641  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,796	45.0	138	—	149	458.4	54	304.8
22年3月期第1四半期	1,239	—	△7	—	27	—	13	—

(注) 当社は平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、平成22年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	4	54	—	—
22年3月期第1四半期	1	12	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	10,177	—	7,502	—	73.7	629	09	
22年3月期	9,870	—	7,557	—	76.6	633	71	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 7,502百万円 22年3月期 7,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	6 00	—	6 00	12 00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,540	33.3	340	—	350	310.2	200	654.4	16	77
通期	7,200	19.6	680	193.0	700	116.4	400	175.7	33	54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 — 社 ( — ) 除外 — 社 ( — )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	12,135,695株	22年3月期	12,135,695株
23年3月期1Q	211,040株	22年3月期	210,902株
23年3月期1Q	11,924,688株	22年3月期1Q	11,925,066株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第1四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 売上高・受注高および受注残高の状況	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国やインド等のアジア諸国を中心とする新興国の経済成長による需要拡大で輸出が好調を続け、回復基調が続いておりますが、ギリシャの財政危機に端を発した金融市場の混乱が欧州経済の停滞懸念や為替相場の円高を進行させ、先行きの景気回復に対する警戒感を抱かせる状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは積極的な営業活動を展開してまいりました結果、主力のセラミックス事業は電子部品業界向けや二次電池関係を主とした耐摩耗セラミックス、耐熱セラミックスの売上高が順調に回復し、前年同期比51.4%の増収となりました。一方のエンジニアリング事業は生産設備投資需要の回復が依然として弱く、前年同期比28.7%の増収に止まりましたため、当第1四半期の売上高は前年同期比45.0%増収の1,796,278千円となりました。

利益面では、上記増収効果に加え、製造コスト削減による製造原価率の改善に注力しましたことにより、営業利益は138,313千円、経常利益は149,086千円と前年同期比それぞれ大幅増益となりました。しかしながら、四半期純利益は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額28,867千円を特別損失に計上しましたことにより、前年同期比304.8%増の54,161千円に止まりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債・純資産の状況

資産は、法人税還付による未収入金の大幅減少がありましたが、増収に伴う売掛債権の増加等により前年同期比5.1%増の10,177,216千円となりました。負債も増収に伴う買掛金が大きく増加し、前年同期比22.9%増の2,675,571千円となりました。純資産は、繰越利益剰余金は増加しましたものの、株式価格下落によるその他有価証券評価差額金のマイナスが膨らみ、前年同期比0.1%減の7,501,644千円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,948,043千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、増益にもかかわらず、前年同期のような売掛債権の大幅減少によるプラス効果がなく、前年同期比68,546千円の減少の305,618千円のプラスに止まりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年の東山工場における大型設備投資が終了し、設備投資を抑えましたことにより前年同期比325,227千円増の57,106千円のマイナスとなりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金200,000千円を調達しました結果、前年同期比48,340千円増の108,419千円のプラスとなりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成22年5月6日に公表しました内容から変更はありません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① たな卸資産の実地棚卸の省略

当第1四半期連結会計期間の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務関係)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ221千円減少し、税金等調整前四半期純利益が29,088千円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,937,503	1,730,578
受取手形及び売掛金	2,341,995	2,200,417
有価証券	30,540	30,533
商品及び製品	592,326	583,311
仕掛品	549,684	535,570
原材料及び貯蔵品	183,099	176,021
その他	72,215	163,031
貸倒引当金	△200	△3,999
流動資産合計	5,707,164	5,415,465
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,699,375	1,722,900
機械及び装置(純額)	1,133,058	1,196,842
その他(純額)	397,309	402,740
有形固定資産合計	3,229,742	3,322,484
無形固定資産	22,640	23,078
投資その他の資産		
その他	1,217,784	1,109,258
貸倒引当金	△114	—
投資その他の資産合計	1,217,669	1,109,258
固定資産合計	4,470,052	4,454,821
資産合計	10,177,216	9,870,286
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,026,760	885,177
短期借入金	402,000	402,000
1年内返済予定の長期借入金	233,168	168,512
未払金	381,355	211,893
未払法人税等	25,853	103,340
賞与引当金	86,250	172,500
役員賞与引当金	3,382	13,530
その他	50,678	17,235
流動負債合計	2,209,448	1,974,189
固定負債		
長期借入金	217,228	124,012
退職給付引当金	42,118	41,846
役員退職慰労引当金	105,222	105,208
資産除去債務	33,402	—
その他	68,152	68,152
固定負債合計	466,123	339,219
負債合計	2,675,571	2,313,408

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,221,859	1,221,859
利益剰余金	5,197,773	5,203,235
自己株式	△91,602	△91,541
株主資本合計	7,648,770	7,654,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△147,125	△97,415
評価・換算差額等合計	△147,125	△97,415
純資産合計	7,501,644	7,556,878
負債純資産合計	10,177,216	9,870,286

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,238,829	1,796,278
売上原価	974,535	1,348,064
売上総利益	264,294	448,213
販売費及び一般管理費	271,009	309,900
営業利益又は営業損失(△)	△6,715	138,313
営業外収益		
受取利息	1,153	1,155
受取配当金	10,028	9,292
助成金収入	14,795	238
退職給付引当金戻入額	8,637	—
その他	2,860	5,192
営業外収益合計	37,476	15,877
営業外費用		
支払利息	3,314	2,917
その他	750	2,187
営業外費用合計	4,064	5,104
経常利益	26,696	149,086
特別利益		
貸倒引当金戻入額	70	3,684
特別利益合計	70	3,684
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
固定資産除却損	—	8,000
固定資産廃棄損	133	1,808
特別損失合計	133	38,675
税金等調整前四半期純利益	26,632	114,094
法人税、住民税及び事業税	2,373	29,000
法人税等調整額	10,880	30,932
法人税等合計	13,254	59,932
四半期純利益	13,378	54,161

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	26,632	114,094
減価償却費	101,419	128,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△70	△3,799
受取利息及び受取配当金	△11,182	△10,447
支払利息	3,314	2,917
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,799	271
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,120	13
固定資産廃棄損	133	1,808
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,867
売上債権の増減額(△は増加)	250,316	△139,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,500	△30,206
その他の資産の増減額(△は増加)	9,773	△1,357
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,132	139,173
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,958	84,326
その他の負債の増減額(△は減少)	128,732	98,717
小計	379,476	413,979
利息及び配当金の受取額	11,412	10,614
利息の支払額	△4,010	△3,642
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,714	△115,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,164	305,618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△381,515	△58,806
無形固定資産の取得による支出	△2,772	△820
投資有価証券の取得による支出	△453	△628
貸付金の回収による収入	844	614
定期預金の預入による支出	—	△150,000
定期預金の払戻による収入	—	150,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	1,563	2,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382,333	△57,106
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△42,271	△42,128
自己株式の取得による支出	△114	△61
配当金の支払額	△97,534	△49,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,079	108,419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	51,910	356,931
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,599	1,591,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,645,509	1,948,043

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：千円)

	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計	消去又は 全社	連結
I 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	890,042	348,786	1,238,829	—	1,238,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	890,042	348,786	1,238,829	—	1,238,829
営業利益又は 営業損失(△)	11,862	△18,577	△6,715	—	△6,715

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) セラミックス事業…粉砕用ボールおよび部材、熱処理用容器・道具材、酸素センサ等

(2) エンジニアリング事業…各種電気炉、熱処理装置、応力測定機器、計測制御装置等

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外子会社および重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

## 【セグメント情報】

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。セラミックス事業は、工業用セラミック製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,347,318	448,960	1,796,278	—	1,796,278
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,347,318	448,960	1,796,278	—	1,796,278
セグメント利益又は損失(△)	139,659	△1,346	138,313	—	138,313

## 3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	138,313
四半期連結損益計算書の営業利益	138,313

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 売上高・受注高および受注残高の状況

(売上高)

事業の種類別セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	890,042	71.8	1,347,318	75.0	457,275	51.4
エンジニアリング事業	348,786	28.2	448,960	25.0	100,174	28.7
合計	1,238,829	100.0	1,796,278	100.0	557,449	45.0

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注高)

事業の種類別セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	928,953	73.2	1,508,557	73.8	579,604	62.4
エンジニアリング事業	339,720	26.8	534,912	26.2	195,192	57.5
合計	1,268,673	100.0	2,043,470	100.0	774,796	61.1

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(受注残高)

事業の種類別セグメント	前第1四半期連結累計期間末 (平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間末 (平成22年6月30日)		比較増減額/率	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
セラミックス事業	1,005,647	83.5	1,297,973	83.7	292,325	29.1
エンジニアリング事業	198,541	16.5	252,725	16.3	54,183	27.3
合計	1,204,189	100.0	1,550,698	100.0	346,509	28.8

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。